

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する  ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			



事務事業名	高齢者見守りネットワーク事業	事務事業No.	20602000014	所属課	高齢福祉課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

## 【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
平成23年度、桜川市の高齢化率は26.6%で、将来推計において高齢化が進む見込みであり、また、65歳以上の高齢者がいる世帯においても7,691世帯と、総世帯数の56.5%を占めており、全国平均で19.2ポイント、茨城県平均でも16.4ポイントと大きく上回っていた。更に、ひとり暮らし高齢者が亡くなっているところを、近所の方等に発見されることがあり、今後ますます高齢者の孤独死が増えることが予想されることから、防止策を図るため本事業を開始した。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
広報やホームページ等で高齢者見守りネットワーク事業を知った民間業者から協力を望む声が寄せられている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

## 【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者をさげなく見守りながら、早期に異変を発見し対応することは、孤独死対策につながり、高齢者福祉の推進に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域や市内外の事業所でネットワークを構成し、高齢者の見守りに取り組むことから、市で行うことは妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 高齢者の孤独死を防止する事業であるため、本来成果を見る事業ではないが、協力事業所との情報交換を密にすることで、成果の向上余地はある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者が安心して地域で生活を送れなくなり、高齢者の孤独死対策が衰退してしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名   徘徊高齢者SOSネットワーク事業（桜川市では未実施） 高齢者が徘徊等により行方不明となった際の早期発見及び保護に努める徘徊高齢者SOSネットワーク事業を実施した場合、既存の高齢者見守りネットワークを活用することができると思われる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げるに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 市内外の事業所による善意で事業が実施されているため、事業費は需用費のみであり削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の不特定多数の高齢者を、無償でさげなく見守る事業であるため受益者は公平・公正である。

## 【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	高齢者の異変に関する情報提供が14件あり、素早く安否確認を行った。12月に協定調印式及び事業報告会を開催し、調印式では新たに19業者と協定を結び、協力事業所は計87事業所になった。報告会では生協・消費生活センター・警察からそれぞれ見守り活動に役立つ講話いただき内容を充実させた。開催後、広報・HP・新聞記事掲載により事業周知を図った。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 高齢者見守ネットワーク機能の充実を図り、高齢者虐待や認知症高齢者の徘徊等の問題に対応できるように検討していく。 事業報告会の開催時期については、関係者が集まりやすく、日常業務に支障がでないよう配慮する。 高齢者見守ネットワーク機能の充実を図る上で、協力事業所の負担が生じないように配慮する。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果	⑤																					
		コスト削減優先度評価結果	⑧																					

## 【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価		確認欄	
<input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>		